

SPA300/SPA500シリーズIP Phoneでの電話コールの録音

目的

ライブ録音では、電話の会話を録音できます。コールが完了すると、録音はボイスメールボックスに入り、他のボイスメールメッセージと同様にアクセスできるようになります。この記事では、SPA300/500シリーズIP Phoneでコールを録音する方法について説明します。

該当するデバイス

- ・ SPA300
- ・ SPA500

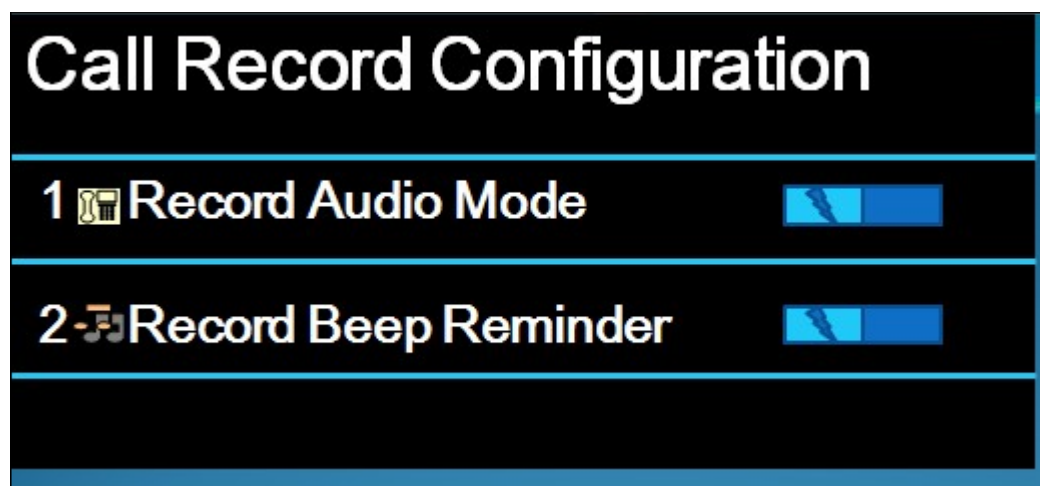
[Software Version]

- ・7.5.4

レコードコールの設定

電話インターフェイスによるコール設定の録音

ステップ1：電話メニューで、[ユーザ設定(User preferences)] > [コールレコード設定(Call Record Configuration)]を選択します。[コールレコードの設定(Call Record Configuration)]メニューが表示されます。



ステップ2：オーディオモードの録音機能を有効にします。この機能を使用すると、コールを録音できます。

ステップ3: (オプション) コールレコードの開始時に電話機のビープ音を1回鳴らすには、[ビープ音の録音リマインダ]を有効にします。

ステップ4:[保存]を押します。

注：電話機が変更を受け入れない場合は、コードを入力してインターフェイスのロックを解除し、プロパティを変更します。電話機のロックを解除するコードは**#です。

Web設定ユーティリティによるコール設定の記録

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、[Voice] > [Phone]を選択します。[電話]ページが開きます。

Call Audio Recording	
Record Enable:	yes ▼
Record Beep Remider:	yes ▼
Undo All Changes Submit All Changes	

ステップ2:[Record Enable]ドロップダウンリストから[yes]を選択し、電話機のレコードを有効にします。

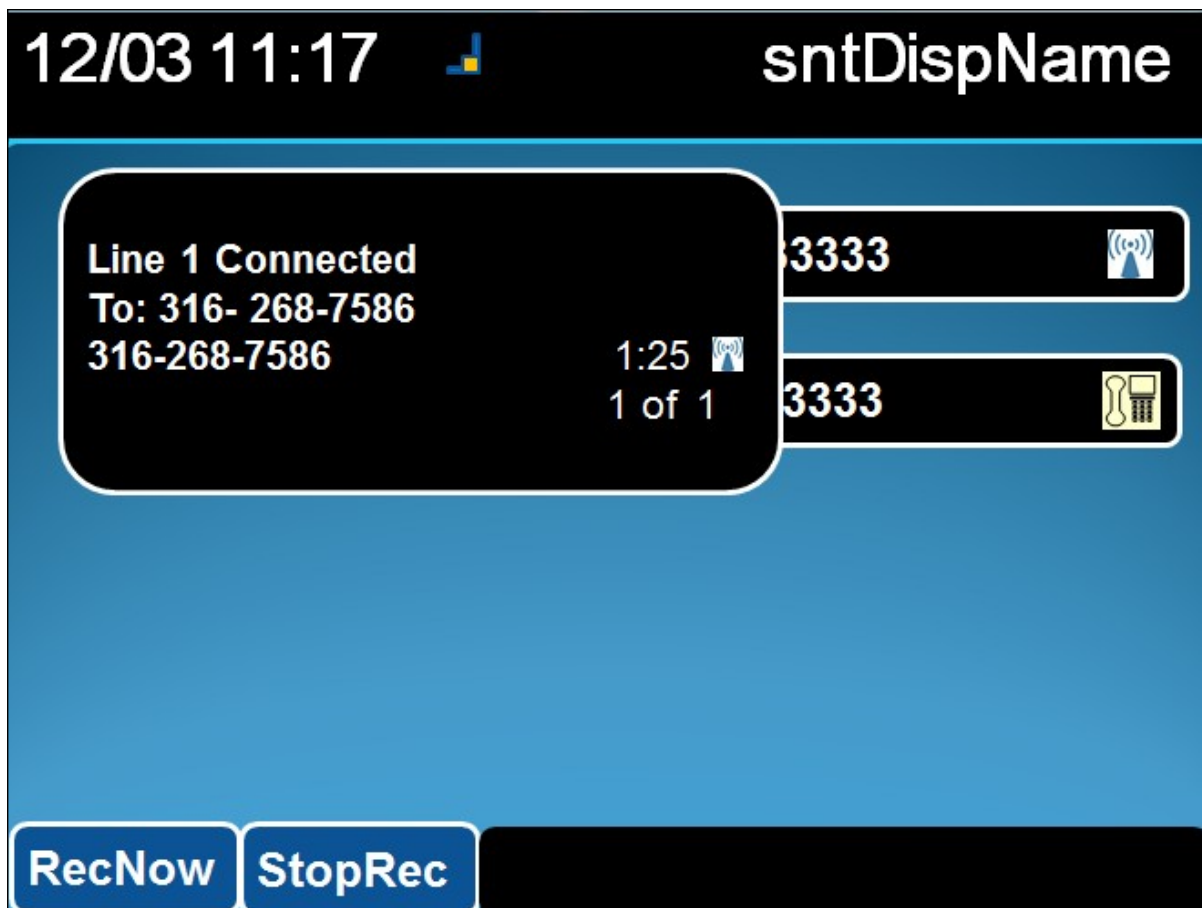
ステップ3:[Record Beep Reminder]ドロップダウンリストから[yes]を選択し、コールの録音に対してビープ音を有効にします。

ステップ4:[Submit All Changes]をクリックします。

注：電話機には、PCから直接アクセスすることも、ユニファイドコミュニケーション(UC)デバイスからアクセスすることもできます。Web構成ユーティリティから設定を変更する場合は、インターフェースの書き込み可能Webサーバーを有効にしていることを確認してください。インターフェイスでこれを有効にするには、[Settings] > [Security Configuration] > [Web Server Writable]を選択して、[Yes]を選択します。

ライブコールの録音

注：電話機でレコード機能を設定すると、メイン画面に表示されます。ライブコールを録音するには、外部ストレージデバイスをSPA525G2のUSBポートに接続します。



ステップ1：コールする電話番号を入力します。

ステップ2：回線の他の部分のユーザが応答したら、ソフトキーを使用して[RecNow]を選択します。

ステップ3：コールレコードを終了するには、[StopRec]を選択します。